

# 令和3年度 年間授業計画

都立小山台高等学校・定時制課程

|   |       |                 |     |    |
|---|-------|-----------------|-----|----|
| 1 | 教科・科目 | 国語・現代文          | 2   | 単位 |
| 2 | 対象学年  | 3年              |     |    |
| 3 | 教科担当者 | 山本沙織・石川志都子      | 副教材 | なし |
| 4 | 使用教科書 | 『標準現代文B』（第一学習社） |     |    |

## 5 年間授業計画

| 学期  | 月    | 単元（指導内容）               | 具体的な指導目標   | 予定<br>時数 |
|-----|------|------------------------|--|----------|
| 1学期 | 4月   | ・「私」という「自分」            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 具体的事例から筆者の主張を読み取り、まとめることができる。</li> <li>・ 本文で説明されている、ヒトの進化の因果関係を捕えさせ、理解させる。</li> </ul>           | 1 2      |
|     | 5月   | ・ ヒトはなぜヒトになったか<br>中間考査 |  |          |
|     | 6月   | ・ デューク                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小説のおもしろさや、登場人物のこころの移り変わりを読み味わう。</li> </ul>  | 1 2      |
|     | 7月   | 期末考査                   |  |          |
| 2学期 | 9月   | ・ 「マジ？」                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文章の論理構造を正確に把握させ、評論読解の技術を身につけさせる。</li> <li>・ 自らのコミュニケーションのあり方について、時代や社会を意識したうえで考察させる。</li> </ul> | 1 4      |
|     | 10月  | ・ コミュニケーションの文化<br>中間考査 |  |          |
|     | 11月  | ・ 詩                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 詩の技法を学び、想像力を豊かにする。</li> </ul>   | 1 4      |
| 12月 | 期末考査 |                        |  |          |
| 3学期 | 1月   | ・ こころ                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作中人物の心理と行動を読み取る力を養わせる。</li> <li>・ 表現法や語句の意味を知ることにより、より豊かな言語生活に役立たせる。</li> </ul>                 | 1 8      |
|     | 2月   |                        |  |          |
|     | 3月   | 学年末考査                  |  |          |

## 6 学習者への注意

きちんと授業に出席し、積極的に授業に取り組む。  
毎時間、ワークシートを提出する。

## 7 評価の観点、方法

「興味・関心・意欲」「読む・書く・話す・聞く能力」「知識・理解」を評価の観点として、総合的に評価する。